

関西いのちの電話

ふれあうところ…06-6309-1121

2004.2

Vol.118



1995.1.17 阪神大震災「あの日を忘れない」

「風」・「相談員ノート」… P2

「創立 30 周年記念講演会・
記念会」…………… P3

「創立 30 周年記念バザー
開催される」…………… P4

「40 期相談員募集」 …… P4

「共感ってなに？」 …… P5

「国見峠だより」…………… P5

「字 遊 帳」…………… P6

K 風 E

「ラッキーそしてハッピー」

関西いのちの電話 理事長 今村 一之

謹賀新年、ハッピー・ニューイヤーと申すには、少し日がたちました。しかし、これが今年の初号なので、遅いご挨拶もお許してください。

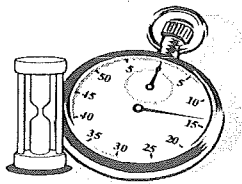
ラッキーは、幸運とあります。宝くじは買わないと当たらないと言われますが、相談員の中にも大当たり、ラッキーと飛び上がった方がいらっしゃるかと思ったりします。私は、投資しなかったので成果なしです。

運というものは、自分の力だけではどうしようもないと思われまふ。できればと幸運を望みつつ、願いつつ、なかなか巡り会えません。そして、これは物質的な関わりがあることが多く、その影響は個人や小グループに止まるようです。

ハッピーは幸福とあります。心の情景を表していると考えられます。物質とは、必ずしも関わりがなくとも幸福であり得ます。一寸した心配り、ひと言が相手をハッピーにします。一つの行為が、一度に多くの人々に及ぶことも無しとしません。

今、ハッピーでないと思っている方々に、ハッピーと感じ、信じていただけるよう相談員の皆様に、今年もご協力いただくよう心からお願いいたします。人々にハッピーを頒かつためには、まず自分がハッピーでなければと思ひます。それには、心身ともに健康であることが大切です。2004年をハッピーな心で暖かい声、明るい年としたいものです。

— 老いる —



29期 N. K

月2回、ボランティアとして特別養護老人ホームに行くようになって、2年余りが経つ。

さまざまな人生を過ごし、そこを終着駅と決め、又、決められた老人たちと接してきた。入居者の中には痴呆の進んだ方もみられるし、多くの方は寡黙である。しかし幾度か接し、話ができていくうちに、彼らは決して可愛そうな、弱い人間ではないことに気づかされる。

介護保険制度の問題点を論じ、イラク戦争、自衛隊派遣を非難し、子供たちに起きている不幸な出来事を嘆く。そして、今置かれている自分の状況とうまく折り合いをつけようとしている。

相談員 ノート

彼らがよく口にする言葉、「早くお迎えが来てほしい」。しかし、その言葉を発したすぐあとに、施設側の対応の悪さを言い、夕食を平らげる。…「したたかさ」さえ感じる。そういう彼らと関わりあいながら、私の老後はどうなるのだろうか、と思う。遠い先ではなくなってきた今、自分自身のことに考えが及ぶ。

これまでの来し方、生き様がすべて集約されて人生の最終章に出てくるように思う。となれば、どう生きてきたか、そして、これからどう生きていくか、ではないだろうか。

すぐ近くに老いが来ているのに、まだ答は見つけないままだ。

2004年、新しい年が明けた。この一年の間に何か答の手がかりを見つけない。

「創立30周年記念講演会・記念会」開催される



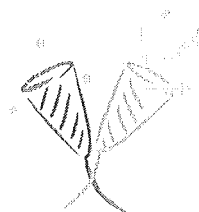
記念会は、現相談員を始め、相談員 OB、連盟、他センターなどの方々に参加いただきマリンバ演奏に耳を傾けながら、楽しい懇談のひとつときを持つことができました。記念会のスピーチで元総主事黒田氏は、「いのちの電話は永遠に不滅です」と言われました。

幸か不幸かそうかも知れません。これからも現実を受け止めて「孤独の中であって、精神的危機に直面し、助けと励ましを求めている一人一人」のよき隣人となり得ればと思います。

1973年に開設されて、30周年を終えた今、2004年。また新たな第1歩の始まりです。

昨年9月27日、大阪YMCA会館にて、創立30周年記念講演会及び記念会（参加人数総勢200名）が行われました。

講演会の講師は野田正彰氏（精神科医、京都女子大学教授）で、演題は「時代と社会と悩み」。若者の閉塞感、中高年者のリストラ、老人の孤独など、それぞれの世代的状況が語られ、人としての関係性を体験し、その中で自然な感情を育てていくことが、信頼関係のある社会の形成につながっていくのではないかという考えが示唆されました。



NTT
DoCoMo



もっとみんなと、つながっていたいから。
使いやすく、やさしい携帯電話。

ムーバ

F671i

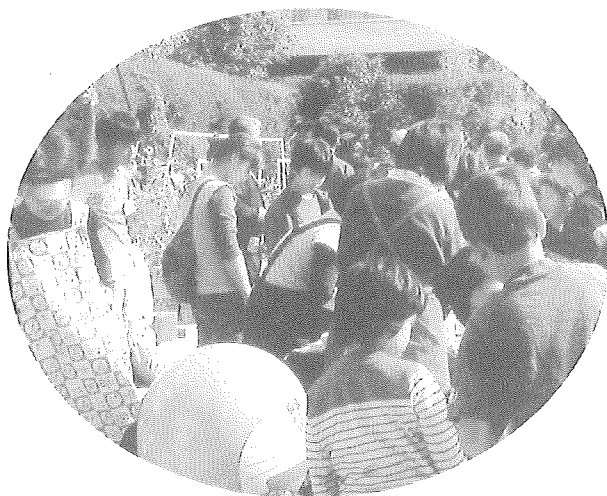
- 文字が大きくて見やすい。
- ボタンひとつでかけられる。
- メールを読み上げてくれる。



<http://www.docomo-kansai.co.jp>

モバイル・フロンティアへ。

NTT DoCoMo 関西



創立 30 周年記念バザーは、昨年 11 月 1 日（土）温暖な秋晴れの下で開催されました。粗品引換券を片隅に印刷して撒いたビラの効果も加わり、早朝から大勢の人が列をつくりました。寄贈品売り場の教会前には、サンタ姿に扮した相談員が汗だくになっていました。

模擬店は、恒例の焼きそば・おでんに加え、串カツが新登場。フランクフルトも久々にお目見えして美味しい匂いを漂わせ歓談を盛り上げてくれました。ご飯物は栗入り・赤飯・お寿司と種々に並べられ、来客者も楽しい様子でした。しかし、収支面ではロッタリー券をはじめとして、減収を余儀なくされ、収益 110 万円と低迷して時代の流れを受け止めざるを得ませんでした。

資金確保、相談員相互の親睦を目的とした事業なのに、実行委員にしわ寄せになっているようで、皆が参加するにはどうすればよいか、と課題を残す結果となりました。

このバザーにご協力くださいました皆様に感謝申し上げます。下記の企業の方々から援助を頂きました。厚くお礼申し上げます。

バザーチーム

▼△ 協賛企業名 △▼

- 池田地区福祉委員会 様
- 江崎グリコ (株) 様
- (株) 中京医薬品 様
- 東リ (株) 様
- (有) なかの 様

(50 音順)

第40期電話相談ボランティア 養成講座募集要項

募集期間：2004年2月2日（月）～3月30日（火）
 養成期間：1年目 2004年4月～2005年3月
 2年目 2005年4月～2006年3月

なお、詳細については返信用封筒に 80 円切手を貼付の上、下記宛に募集要項をご請求ください。

〒532-0028 大阪市淀川区十三元今里 3-1-72
 社会福祉法人 関西いのちの電話事務局
 TEL 06-6308-6868 FAX 06-6308-6180

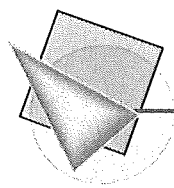
カウンセラー養成講座

基礎コース 前・後期 計 113 時間
 毎年 4 月・10 月開講 昼・夜コース

系統だったカリキュラムと一流講師による講座は、全国的な評価を受けています。働きながら受講できます。年齢、学歴不問。詳細パンフレットを無料送付します。ご希望の方は、下記までご連絡下さい。

財団法人 関西カウンセリングセンター

〒530-0044 大阪市北区東天満 2-10-41 YFC 会館 3F
 TEL. 06-6881-0300 FAX. 06-6881-1317
<http://www4.osk.3web.ne.jp/ksccl/>



共感ってなに？ (19)

「見えないものに関心を」

共感とは、相手の持つ感情や気持ちにしっかりと応答することです。相手の言動の背後に隠されている喜び、不安・恐れ、悲しみ・怒りという感情に耳を傾けるのです。

とは言っても、相手から不安な気持ちを伝えられると、「そんなことはないよ・・・」「思い過ぎしょ」と、不安からの救出を試みます。また悲しみにくれている人に接すると、「あなただけでは無理だよ」「もっとつらい人もいるんだから」などと慰めようとします。さらに、激しい怒りをぶつけられると、早くそれを納めさせようとして、原因を説明したり、解決策を提案

したり、果ては怒りの対象になっている人の代弁者になってしまうことがあります。これらの対応はいずれも聞き手が相手の気持ちを受け止めかねて、その状況から自分が早く抜け出すための苦肉の策だと思います。

激しい感情をぶつけてくる相手は、聞き手の前ではいま、心細さ、悲しみ、怒りを表出していて、收拾のつかない混乱した状態しか見えません。しかし、背後にその状態に至った経緯やその人固有の感じ方、考え方、思い、願望などがあるのです。それはその人の唯一の人生であり、かけがえのない物語です。いまは、聞き手には見えないけれども、相手自身の物語が存在するのです。しかし、すぐにその物語に接近できないし、そうさせてはもらえません。

聞き手にできることは、そのかけがえのない物語の存在を認めて待つことです。見えないものにも関心を持って、いまここに、耳と心を傾けていることを伝えるのです。相手が聞き手を聞き手として認め、語りはじめるまで。

長尾文雄

街の掲示板にもいろんな顔がある。取り澄まして容姿端麗なものもあるが、不精ひげをはやしたり歯抜けだったりしたものもある。そんな掲示板に最近面白いものを見つけた。

一つは、わが国見峠自治会の掲示板、こちらはガラス戸の奥に収まった気品高い掲示板である。その中に、ある日「老人会新聞」というポスターを見つけた。「老人会新聞」といっても小学校高学年の女子の手書きで、老人会のことをイラスト入りで親切かつ簡潔に紹介している。この地区の60才以上の老人は300人位、そのうち会員は52人、入っていないのはまだ若いと思っている人か、働き続けている人と分析している。老人会の行事は、誕生会、旅行、ゲートボール、草取りとある。おまけに、筆者も早く60才になって行事に参加したいと結んでいる。

今までも老人会の存在は知っていたが、会のことをこれほど身近に感じたことはなかった。最近老人会の会長が交代したと聞いたが、こんな方法でアピールするとは、今度の会長は余程の策士らしい。



街の掲示板

だが、私自身はまだまだ若いと思っているので入会する気はないが。

もう一つ、JR茨木駅前の掲示板は吹きさらしで、勝手に誰が何かを張ってもそのまま放置されていそうな、素浪人風掲示板である。その中に次のような毛筆・縦書きのピラがあった。

私はホームレスの人を見るといつも自分自身を彼の中に見ます。

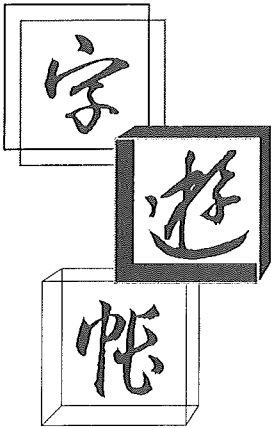
彼は私自身であり、そして又私は彼自身でもありえるからです。

最後に「歩流無」と花押がある。

この一文の筆者は何故こんなものをこんな所に張り出したのか。彼は自分の中に、ユングのいう「影(シャドウ)」を見ているのだが、河合隼雄氏は、このような「影」があつてこそ、われわれ人間に生きた人間としての味が生じると言っている。

<たかが掲示板、されど掲示板>、ものによっては哲学的で奥深く、馬鹿にできない。

壇 清々



昨年暮に高史明のCD講演録『「歎異抄」に学ぶ』を聴いた。
 救いを求める「たのむ」という言葉に「恃む」という文字を充てるのが順当だという。
 そういう高の言葉に力強さを感じる。「助けて下さいという意味は全くなく、お任せする」ことだと既に何年か前に説いている。高の問題意識がここに集まるのには、75年7月17日に一人息子を自死で亡くした事が大きな機縁としてある。翌年秋に上梓した遺稿集で「悲しみは日々あらたに 衝きあがる」と記している。
 苦悩がその人生を長く占 める事は珍しくない。
 この漢字の傍「寺」に 一方、救いも長さに関与する。親鸞は
 く長い苦悩に符号する。 て長く捨てぬ」と釈す。高は子を失った時から
 救いを「ひとたびとり 2004. 2. 1 37期 T. Y



題字 30期 S. S

相談電話受信件数

受信月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
受信件数	1,619件	1,697件	1,651件	1,547件	1,622件	1,502件	1,983件
相談員数(延)	452人	458人	451人	440人	442人	400人	519人

注) 12月はフリーダイヤル「自殺予防」の件数493件を含む

**30周年(第22回)記念
公開講座**

主 題：『不安と安心』—心のバランス—
 講 師：藤本 義一氏
 日 時：2004年3月6日(土)
 午後2:00開演
 場 所：クレオ大阪西
 参加協力費：1,000円(当日1,200円)

※ お問い合わせは、事務局へ

<ありがとうございました>

- NTT ドコモ関西 様 50万円
- NTT 西日本 様 10万円
- 大阪府共同募金会 様 153万円
- 大阪ロータリークラブ 様 20万円
- 清和会 様 20万円
- 日本キリスト教団 大阪教会 様 10万円
- NHK 歳末たすけあい募金 様 24万円

— 編集後記 —

30周年の節目を越えて、また新しい1年を歩み出した。イラク戦争は終わることなく、悲しい事件も多い中、今こそ支えあう心を研ぎ澄ませ、このボランティア活動に携わりたいものです。
 今年も活動の発信基地「広報誌」を通して私たちにできることを確かめ合ひましょう。

社会福祉法人 関西いのちの電話
 事務局 〒532-0028 大阪市淀川区十三元今里 3-1-72
 TEL. 06-6308-6868 FAX. 06-6308-6180
 発行人 今村 一之 編集 広報・編集チーム
 ホームページアドレス <http://www.age.ne.jp/x/kaind/>

S・S